

埼玉県親善大使 レポート ABR.

4月といえば、日本では新年度が始まり、周りの環境が変わり新しい気持ちになる月ですね。日本では春は出会いと別れの季節ですが、メキシコでは新年度が始まるのが8月のため、春の新しい出来事へのドキドキ感を感じることができずになんとか不思議な気持ちになります。

メキシコに来て以来、日本が無性に恋しくなる時が何度かありました。

今は、日本の季節の変わり目に感じる香りと満開の桜がとても恋しいです。日本では春といえば満開の桜ですが、こちらメキシコでは JACALANDA（ハカランダ）という花が春の訪れを告げる花のようです。



こちらがハカランダの花です。一つ一つの木に咲く花の密度は桜ほど高くないのですが、このように集まったものを見ると、とても綺麗です。メキシコでみるハカランダは紫が多いようですが、種類としては赤、

白、ピンク、紫等、あるようです。

しかし日本人の私としては、桜に勝るものは無いな、と感じます。

そして今の時期は沢山のメキシコ人が『今が一番いや～な季節だよ～』と嘆く時期でもあります。メキシコではおおよそ6月～9月頃までが雨季、10月～5月が乾季なのですが、乾季の終わりの4月、5月は冬が終わりとても暑くなるものの雨が降らないため夕方の遅めの時間まで日差しが強く外を少し歩くのも暑くて一苦労、ということがザラだからです。

また今メキシコシティでは大気汚染が深刻な問題になっています。。そのため、メキシコシティ内での自動車の使用を制限したり、交通機関を一定期間無料にしたりと様々な対策がとられています。

そしてもちろんこの大気汚染により体調不良を訴える人がたくさんいるのですが、驚くことに不調を訴えている人の多くが、お腹の不調を訴えているのです。大気汚染ということで、イメージとしては喉や鼻に影響がでるものかと思いましたが、お腹に出ているようです。

メキシコでは道路等での露店販売がとてもポピュラーなので、(普段でもそうですが)道端の屋台などでご飯を買ったりするのは気をつけなければいけません。

気をつけないといけないメキシコの屋台ご飯ですが、そのほとんどがみなさんご存知の『タコス』か日本でいうサンドイッチ『トルタ』を売っている屋台だと思います。メキシコでは、食パンを使ったものをサンドイッチ、テレラと呼ばれるソフトフランスパンのようなものを使ったものがトルタと呼ばれています。このトルタですが、メキシコではタコスと同じくらい日常生活に欠かせないローカルフードです。地域によってはタコスの屋台より、トルタの屋台の方が多くあるところもあるようです。



左の写真がトルタに使われるテレラパンです。

そして右はメキシコでは定番のミラネサと呼ばれる豚肉のカツレツが挟んであるトルタです。具はペースト状の豆、トマト、アボカド、レタス、たまねぎといったベースの具にそれぞれ選んだ具が入るのでとてもボリュームたっぷりです。

また、メキシコのスペイン語ではトルタはサンドイッチを意味しますが、メキシコ以外のスペイン語圏の国、スペインやアルゼンチンなどでは、ケーキを意味します。ちなみにメキシコでケーキを指すときはパステルと言います。やはり同じスペイン語圏でも周りの環境の影響で少し単語の使い方が違ってきます。

日本でもメキシコのトルタを売っているお店があるようなので是非食べてみてください。